

# レッドリスト掲載種で現状不明種の標本調査



自然・環境再生研究部 生物資源研究グループ

藤井 俊夫

近年、各地で様々なレッドリストが作成されています。ところが作成されたレッドリストに現状不明とされる種が多数掲載されています。このような種は、標本情報があるが、その後、標本の採集地で確認されないため現状不明の扱いになっています。

分布の元情報となった標本を確認する作業を続けていると、標本ラベルの読み間違いによる、誤った分布情報をもとに「過去に分布していた」とする種が見つかってきました。

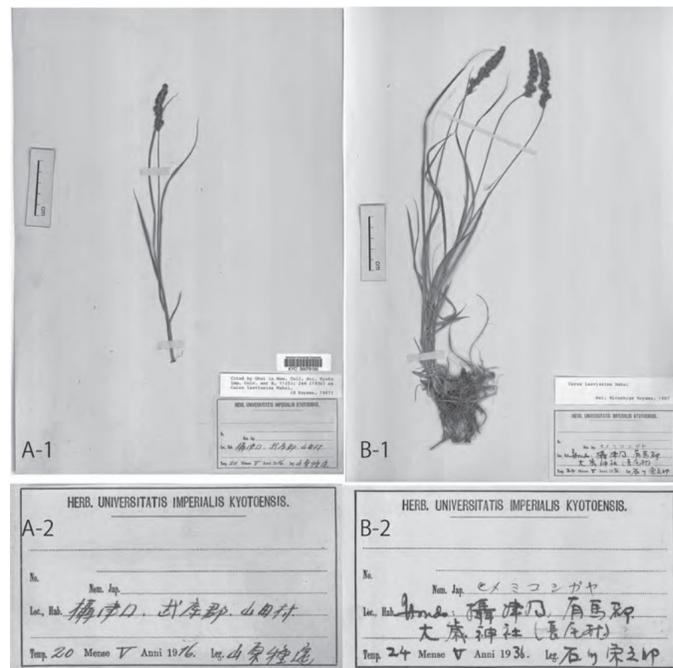
大阪府におけるハイノキとヒメミコシガヤについて標本調査をしたところ、いずれもラベルに記された地名の読み間違いであることが判明しました。

## ハイノキ

標本のラベルには「和泉名ノ川」との記載があり、大阪府の和泉周辺で採集した標本とされていました。ところが、名ノ川は、大阪府には見当たらず、高知県に名野川という地域がありました。近くにはハイノキの生育する鳥形山があり、同時に採集したと考えられる標本から、ハイノキの採集地は大阪府ではなく、高知県であると考えました。

## ヒメミコシガヤ

標本のラベルには、「摂津国武庫郡山田村」と書かれており、摂津国を大阪府と読み間違えたものと考えられます。武庫郡山田村は、現在の神戸市北区山田町周辺になります。



大阪府産とされたヒメミコシガヤの標本